



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要

建物名称	吉田24号倉庫建設工事	BEE	0.8	BEEランク	B-	★★
------	-------------	-----	-----	--------	----	----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点 <sup>※</sup> /満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	2.0	/5	がんばろう
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.9	/5	がんばろう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.5	/5	がんばろう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	1.7	/5	がんばろう

※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)

評価 凡例	よい	ふつう	がんばろう
	4 点以上	3 点以上	3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。	内訳対応項目	
	得点	
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)</b>	<b>2.0</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④部品・部材の耐用年数20年</li> </ul>	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑥敷地内緑地外周部に10%以上</li> </ul>	Q-3 1 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
<ul style="list-style-type: none"> <li>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑨LED照明の採用、高効率空調の導入</li> </ul>	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制
<ul style="list-style-type: none"> <li>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水コマの採用⑫再生クラッシュランの採用、エコマーク商品の採用</li> </ul>	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 ⑪ 2 2.1 2.1.1 ⑫ 2.1.2 ⑫ 2.1.3 ⑫ 2.1.4 ⑫ 2.1.5 ⑫ 2.1.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒
<ul style="list-style-type: none"> <li>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)</li> </ul>	LR-3 1 2 2.2	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善
<b>"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)</b>	<b>2.9</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑰露出吊り配管⑰通信手段の多様化</li> </ul>	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備
<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)</b>	<b>2.5</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳梁下5m、床荷重1ト/m<sup>2</sup></li> </ul>	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑳地域性・アメニティへの配慮)</li> </ul>	Q-3 3 3.1	⑳ 地域性への配慮、快適性の向上
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)</b>	<b>1.7</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室外環境(敷地内)対策 (㉑生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/㉓敷地内温熱環境の向上)</li> </ul>	Q-3 1 2 3 3.2	㉑ 生物環境の保全と創出 ㉒ まちなみ景観への配慮 ㉓ 敷地内温熱環境の向上
<ul style="list-style-type: none"> <li>■敷地外環境対策 (㉔温熱環境悪化の改善)</li> </ul>	LR-3 2 2.2	㉔ 温熱環境悪化の改善

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	吉田24号倉庫建設工事	階数	地上2階
建設地	静岡県吉田町	構造	S造
用途地域	用途地域指定なし、防火地域指定なし	平均居住人員	10人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年10月 予定	評価の実施日	2020年2月20日
敷地面積	11,582㎡	作成者	山杉哲朗
建築面積	7,323㎡	確認日	2020年2月21日
延床面積	13,948㎡	確認者	田中和美



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

個別計算

このグラフは、一般的な建物(参照値)と比べて、この建物のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量を評価者自身の計算(個別計算)により算出した結果を示しています。LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート(個別計算)」を参照されたい

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR のスコア = 2.8**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 0.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.0

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	本物件は、飲料水関係の商品を流通保管する倉庫である。ある程度まとまった空間を確保すべき、土地の所有者の協力を得た。土地利用事業の承認を経て、開発行為申請、確認申請と進んでいく。 CASBEE静岡2016年版による評価結果である。	その他 特に無し
<b>Q1 室内環境</b>	倉庫の1階は、荷捌き場(庇下)と搬出入平面移動で、パレット保管である。倉庫2階は、リフト及び荷物用EVで垂直搬送し、2階の保管室で品管を行う。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 吉田町緑のオアシス条例に基づいて緑化に努めている。
<b>LR1 エネルギー</b>	附則第3条2項前段の規定により、省エネ申請対象外である。なお照明はLED化で計画している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 各規制法に準拠している、若しくは該当しない。
<b>Q2 サービス性能</b>	事務所の2階に休憩所を設けている。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	仕上材等にエコマーク商品を積極的に設計採用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい